

療育のあゆみ

2022 年（令和 4 年）度業務統計

福井県こども療育センター

はじめに

コロナが5類となり、長かった非日常の日々も漸く終息の兆しがみえてきました。2022(令和4)年度はコロナ流行の中で工夫して種々の活動を行いました。

当センターは医療と福祉の分野の各職種が専門性を活かして診断と療育に取り組んでいます。当センターの理念は『あらゆる障がい児のために』となっていますが、現在は、「障がい児」に限らず、『全ての支援を必要とする児』のためにと対象は広がっています。施設療育から地域療育支援へという流れはより強くなっていますが、施設療育を必要とする児の存在をここに停めておくことも大切です。肢体不自由児施設から出発した当センターですが、今後、どのような役割を果たすことが必要なのかをあらためて検討する 때가来ています。

当センターの仕組みも、外来での診療を担う医療課・リハ室、学校や園との連携を考える地域支援課、在宅支援や入所といった利用者さんの生活に寄与する生活支援課となり2年目になります。医療課・リハ室では外来の各種講座・特別外来を開催し、市町への療育支援についても内容や開催方法を検討・改善しつつ続行しています。地域支援部の小児療育担当職員等実務研修(2016(平成26)～)、リハイク(2020(令和2)～地域の支援学校へのリハ職種派遣)、リハシル(2022(令和4)～教育との連携をテーマとしたモデル事業)、入所部の短期入所での当事者支援(2021(令和3)～)、オアシスでの実務者研修(2021(令和3)～)、嶺南支援(2011(平成23)～)等、地域の支援体制が整うような取り組みも続けています。

当センターの理念と基本方針は以下の通りです。

理 念：

「私たちは、あらゆる障がい児のために療育環境と療育技術の向上に努力いたします。」

基本方針：

- 1) あらゆる障がい児に対し、高度な医療と福祉を提供いたします。
- 2) 県内各関連機関との連携を強化し、地域療育拠点施設として貢献いたします。
- 3) あらゆる障がい児の成長過程に合わせたQOL(生活の質)の向上を目指して、個々のニーズに対応いたします。

世の中の制限もかなり緩やかになりポストコロナに向けて活動が再開されています。この理念についても検討変更が必要のようです。

今後とも『支援の必要な児・およびご家族、支援者の方々』へ、より質の高い医療と療育を提供することを目指して努力する所存ですので、皆さまのご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

この「療育のあゆみ」は、2022(令和4)年度の業務実績をまとめたものです。

御高覧のうえご意見・ご感想をいただければ幸いです。

2023(令和5)年6月

福井県こども療育センター所長 津田明美

目 次

I センターの概況

1 業務概要	1
(1) 療育相談・診療部門	
(2) 福祉施設部門	
(3) 地域支援活動	
(4) ボランティア活動	
(5) 広報活動	
2 沿革	8
3 職員・各種委員会	9

II 業務統計

1 療育相談・診療部門	11
A 外来新患	11
(1) 相談別集計	
(2) 年齢別集計	
(3) 紹介元別集計	
(4) 住所別集計	
A-1 各科外来新患分類	12
(1) 小児科	
(2) リハビリテーション科	
(3) 整形外科	
(4) 耳鼻咽喉科	
(5) 児童精神科	
B 診療・療育相談	16
(1) 外来児の取扱数（診療科別延人数）	
(2) 手術件数	
(3) ボトックス治療実施件数	
(4) 診療科別処方箋数	
(5) 診療科別調剤数	
(6) 診療科別調剤延べ日数	
(7) 診断書・意見書等作成件数	
(8) 補装具作成件数（椅子など）	
(9) 補装具作成件数（装具）	
(10) 放射線部位別撮影件数	
(11) 生理検査件数	
(12) 検体検査件数	
(13) 心理判定・心理治療件数	

(14) 心理判定・心理治療の障害別実人数	
(15) 心理治療技法別件数	
(16) 種類別心理検査実施件数	
(17) 医療ソーシャルワーカー相談件数	
(18) 栄養指導延件数	
C リハビリテーション(理学療法・作業療法・言語聴覚療法・音楽療法)	21
(1) 理学療法の障害別実施件数	
(2) 理学療法の年齢別実施人数	
(3) 作業療法の障害別実施件数	
(4) 作業療法の年齢別実施人数	
(5) 言語聴覚療法の障害別実施件数	
(6) 言語聴覚療法の年齢別実施人数	
(7) 音楽療法の障害別実施件数	
(8) 音楽療法の年齢別実施人数	
2 福祉施設部門	29
A 医療型障害児入所施設 つくし園	29
(1) 月別在籍数 (初日現在)	
(2) 障害別集計	
(3) 年齢別集計 (入所時)	
(4) 住所別集計	
(5) 進路別集計 (退所時)	
(6) 在籍期間別集計 (退所時)	
(7) 重複症状別人数	
B 児童発達支援センター つばさ	32
(1) 月別在籍数 (初日現在)	
(2) 障害別集計	
(3) 年齢別集計 (通所開始時)	
(4) 住所別集計	
(5) 進路別集計 (退所時)	
(6) 在籍期間別集計 (退所時)	
(7) 重複症状別人数	
(8) 水治療室利用件数	
C 生活介護事業所「オアシス」	35
(1) 月別在籍数 (初日現在)	
(2) 月別利用者延べ人数	
(3) 障害別集計	
(4) 年齢別集計 (年度開始時)	
(5) 住所別集計	
(6) 入浴利用者延べ人数	
(7) バス通所利用者延べ人数	

(8) 重複症状別人数	
D 短期入所	37
(1) 利用件数	
(2) 重複症状別人数	
3 地域支援活動	38
A 療育研修会	38
B 療育支援活動	39
(1) 診療科別実施状況	
(2) 地域支援課実施状況	
(3) 生活支援課実施状況	
(4) 特別支援学校リハビリ相談事業～リハイク～実施状況	
C 嶺南地域療育機能強化支援事業	42
4 その他の活動	44
A ボランティア活動	
(1) ボランティアの受入状況	
B 実習・見学	
(1) 実習生研修状況	
(2) 施設見学・視察受入状況	
C 水治療室の利用者別実施人数	
Ⅲ 研究業績	45
1 学会発表	45
2 講演	47
3 所内研修	52

I センターの概況

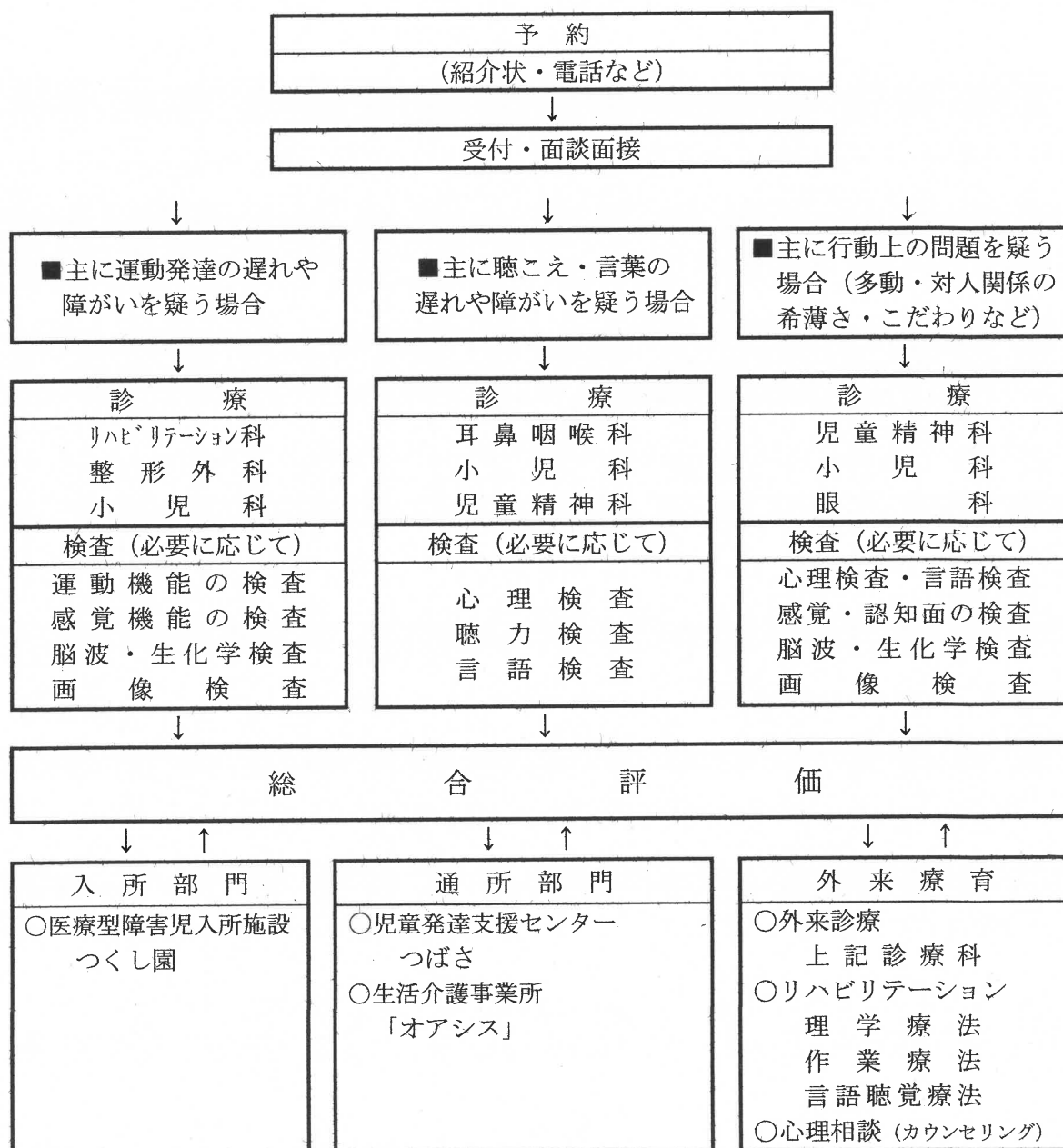
1 業務概要

こども療育センターは、医療と福祉の機能を併せ持ち、医師など15に渡る職種の職員がチームを組んで障がい児のために総合的できめ細やかな療育を行っている機関です。

また、下表のように、医療や保健、児童福祉、教育機関など、各関係機関とも相互に連携を取り合っています。

医 療	保 健・福 祉	教 育
福 井 県 立 病 院 各 医 療 機 関	総 合 福 祉 相 談 所 児 童 相 談 所 県健康福祉センター 市 福 祉 事 務 所 市町保健センター 保育所、児童発達支援 相談支援事業所など	特別支援教育センター 特 別 支 援 学 校 そ の 他 の 諸 学 校 幼 稚 園 な ど

《療育相談・診療の流れ》



(1) 療育相談・診療部門

生後間もなく身体や発育の異常に気づかれたお子さんや、地域の医療・福祉・教育の機関等で気がかりさを指摘されたり発達の遅れを疑われたお子さん達が、専門的な診断・治療を希望して保護者や関係者とともに窓口を訪れます。

紹介制を原則とし、あらかじめ電話等で日時の予約をしていただきます。

初診予約は医療ソーシャルワーカーが対応し、相談の内容に応じて、診療、検査、テストなどの順序や組合せを考え、予約を受け付けます。

診療にあたり、医師（リハビリテーション科・小児科・整形外科・耳鼻咽喉科・児童精神科・眼科）はお子さんの成長発達全体について専門的な検討を行います。それを踏まえて、各種機能の発達の遅れや異常、精神発達の状態像を正確に把握するために、必要に応じて各部門で次のような諸検査が行われています。

生理的検査	脳波検査、心電図、聴性脳幹反応検査など
画像検査	X線撮影、超音波検査など
身体運動機能検査	〈理学療法〉身体計測、筋力テスト、関節可動域テスト、感覚(知覚)検査、脳性麻痺簡易運動テスト（SMTCP）など
精神運動発達検査	〈理学療法〉日本版デンバー式発達スクリーニング検査、運動年齢検査、ADLテストなど 〈作業療法〉日本ミラー幼児発達スクリーニング検査、乳幼児発達スケール（KIDS）、こどものための機能的自立度評価表（WeeFIM）など
認知・感覚面の検査	〈作業療法〉フロスティッグ視知覚発達検査、グッドイナフ人物画検査、感覚プロファイルなど
聴力検査	聴性行動反応検査（BOA）、条件詮索反応検査（COR）、遊戯聴力検査、純音聴力検査など
言語発達等検査	絵画語彙発達検査、田研式言語発達診断検査（語彙検査）、質問－応答関係検査、小学生の読み書きスクリーニング検査など
音声に関する検査	構音検査、発声・発語器官機能検査など
心理検査	新版K式発達検査、WISC-IV、田中ビネー知能検査、PARS、Vineland-II適応行動尺度、描画テストなど

このような多方面にわたる検査や評価を統合して、持ち込まれた問題への対応策が示され、お子さん本人やご家族に対して、毎日の生活に密着した養育の指導がなされます。

外来診療としては、てんかん発作のコントロール、自閉スペクトラム症などの発達障がいへの児童精神医学的にかかわり、言語・聴覚障害児の言語聴覚療法や補聴器装用指導、肢体不自由児の義肢・装具の装着、一般病院では対応の難しい小児整形外科疾患の診断・治療、理学療法・作業療法および心理療法（遊戯療法など）などの専門的な治療を行っています。

なお、事後の継続的な医学的観察や治療の一部は、紹介医療機関などに依頼することもあります。

そのほかに、特別外来として、

- ・「くらげ外来」（発達障がい児の保護者対象のペアレント・プログラム。

- 公認心理師が担当。）

- ・「とびうお外来」（発達障がい児の保護者対象のペアレント・トレーニング。

公認心理師が担当。)

- ・「いるか外来」(地域の児童発達支援センターの小集団を利用していない年中の発達障がい児対象の小集団。医師、言語聴覚士、公認心理師が担当。)
- ・「カナリア外来」(発達障がい児の保護者対象の学習会。公認心理師が担当。)
- ・「しゃべり場」(発達障がい児本人のグループトーク。公認心理師が担当。)
- ・「ももくり外来」(発達障がい児または運動発達遅滞児対象の小集団。作業療法士が担当。)
- ・「水治療法」(運動に遅れや障がいがあるお子さん及び運動が苦手なお子さん対象のプールでのプログラム。理学療法士が担当。)

があります。

お子さんの発達や機能の向上には、家庭や集団生活場面での指導方法や留意点についての助言が求められます。保健や栄養・心理面への配慮、子育て環境の調整などについての各専門スタッフによる指導や援助も欠かすことができません。

当センターでは、保護者支援の一環として講座を行っています。2022 年度も、新型コロナウイルスの感染予防対策を行った上で実施しました。

2022 年度 外来講座実施状況

(延べ人数)

テーマ	参加保護者	参加支援者
こどもの発達について	88	10
診断(特性)について	169	20
はじめにすること - 1 ことば遅れなし (ST・OT)	105	14
はじめにすること - 2 ことば遅れあり (ST・OT)	58	12
園・学校との付き合い方 (SW)	120	18
コミュニケーション・理解(視覚的支援)	28	27
コミュニケーション・表出 (PECS)	27	10
学童から思春期に大切にしたいこと	24	19
社会性・コミュニケーションについて	26	1
不注意・落ち着きのなさや学習問題について	35	1
構造化について	10	5
二次障がいについて	11	5
本人への告知について	23	2
年中セミナー	50	8
小1セミナー	77	13
小3セミナー	20	5
LD について	27	10
計	898	178

1 テーマにつき複数回ずつ実施している。表はその合計数。

当センターではお子さんが本来持っている力を最大限発揮できるように、成長・発達を支えます。ご家族と一緒に、お子さんを取り巻く地域社会の機能や資源も活用して、お子さんが生き生きと楽しく生活できるように考えることを療育相談・診療部門の役割としています。

(2) 福祉施設部門

こども療育センターは、医療と福祉がひとつになった、障がい児のための総合療育機関であり、療育相談・診療部門と福祉施設各部門が連携しています。

児童発達支援センター つばさ 定員40名/1日
運動や対人・コミュニケーションの発達に専門的支援を必要とする就学前のこども達が親子で通所する施設です。それぞれの発達状態や特性に合わせたグループ療育を行っています。 保育士や看護師等が保育や健康相談等を提供する中で、健康面、情緒面、生活面やコミュニケーション面の発達援助に取り組んでいます。 また、お子さんが社会に適応し家族とともに楽しい生活が送れるよう、保護者支援や地域療育支援も行っています。
医療型障害児入所施設 つくし園 定員50名
運動発達の遅れや運動機能に障がいがある18歳までのお子さんに対して、整形外科、リハビリテーション科、小児科などの医学的管理のもと、治療や看護、発達支援、日常生活指導、保育など、一人ひとりの個性を大事にした療育を行っています。また、理学療法、作業療法、言語療法などお子さんに必要なリハビリテーションを行い、機能の向上や発達を促しています。 学齢児童は隣接する福井東特別支援学校へ通学することができます。 (母子入所) 乳幼児で治療上付き添いが必要な場合は、お子さんと母親が一緒に入所することができます。 (短期入所) 18歳未満の肢体不自由児・重症心身障害児、18歳以上の重症心身障害者を対象としています。保護者の様々の理由により、一時的に自宅で介護を受けることが困難なお子さんを、日帰りから原則1週間までお預かりしています。ご家族のレスパイト（休息）としてもご利用いただけます。
生活介護事業所 「オアシス」 定員15名
対象は、高等学校卒業後（18歳以上）の重症心身障がい者です。 看護師の医療的な関わり、療法士と共に行う身体運動、保育士による日中活動などを提供することにより、社会性の向上や運動機能の維持・向上を目指します。成人期の社会生活につながるよう様々な集団活動を行っています。

(3) 地域支援活動

1) 療育研修会

地域での生活を支援する拠点施設として、障がい児療育に関する研修会を開催することにより、地域福祉の向上に努めています。

知的障がいや自閉症スペクトラムなどの発達障がい、また肢体不自由や重症心身障がいのあるお子さんは、日々の暮らしのより身近な環境において障がい特性に応じた専門的支援を必要としています。そこで、さまざまな分野において造詣の深い専門講師を招いて、保護者や県内の福祉・教育関係者（児童相談所、保育所、児童福祉施設、療育拠点施設、特別支援学校教員など）ならびに当センター職員を対象とし、講義や実技指導を内容とする研修会を行い、障がいの理解や最新の知識、療育技術などを社会に普及することでお子さんや家族の生活の質（QOL）の向上を図っています。

2) 療育支援活動

専門的な療育・教育機関等からの要請を受け、センターの職員が出向いて医学的管理や療育技術の指導を行うなどの支援を行っています。主な支援活動は表のとおりです。

施設・学校・機関	内 容	スタッフ
地域療育拠点施設 (委託医療機関及び事業所)	小児療育体制確保事業（県障がい福祉課）の受託施設に対して、診療および療育を担当する職員への研修を行う。	医 師 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
福井県教育委員会	就学指導委員会において、就学児等の各種相談・病状などに対し、医療面から専門的助言などを行う。	医 師
福井市子育て支援室	保育所入所児発達相談専門委員会において、保育所入所希望児の各種相談・病状などに対し医療面から専門的助言や指導を行う。	医 師
福井市教育委員会	教育支援委員会や特別支援専門委員会において、就学児等の各種相談・病状などに対し、医療面から専門的助言などを行う。	医 師
特 別 支 援 学 校	特別支援学校での学習や生活現場における医学的な留意事項や介助、支援方法を家族および担当教諭に専門的な立場から助言などを行う。	医 師 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
保 育 所 幼 稚 園 こ ど も 園	見学の受け入れや、各市町の保育士研修などの講師を務めることを通じて、保育所・幼稚園・こども園の職員に対し、専門的な支援方法の指導を行う。	医 師 保 育 士 公認心理師 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
児童発達支援センター 児童発達支援事業所	事業所利用児の発達健診や保護者学習会等を通じ、保護者への支援や職員指導、市町の支援体制づくりへの助言等を行う。	医 師

3) 嶺南地域療育機能強化支援事業

気がかりさがあるお子さんの療育は、「子どもの身近な地域における早期からの支援」が求められており、県全域で必要とされる専門的療育を提供する体制が必要です。このため福井県では医療と福祉の機能が一つになった、総合療育機関であるこども療育センターから遠方の嶺南地域に対して、地域療育拠点病院や事業所にリハビリテーション職種の出向を行ってきました。

平成24年度からは、言語聴覚士と公認心理師を若狭健康福祉センターに駐在、理学療法士と作業療法士をセンターから派遣しています。病院や事業所、市町の母子保健や相談事業へ研修等を通じて、支援方法の提案を行っています。

4) 小児療育担当職員等実務研修（児童発達支援センター つばさ）

2010、2011年度に、発達障がい児支援に関する人材育成の一役を担う目的で、「発達障害児支援に関する保育士研修」を旧難聴幼児通園施設ひばり園（現児童発達支援センターつばさ）で受け入れました。（2012、2013年度については、諸般の事情により行っていません。）

2014年度からは、地域療育の充実を図るために、「小児療育担当職員等実務研修」を児童発達支援センターつばさで受け入れています。

2017年度から研修型のペアレント・プログラムのコース、2022年は出張講座「ほめるコツ～ペアレント・プログラムのエッセンス～」も新規に取り入れています。

2022年度実施内容と研修者数は以下の通りです。

対 象：地域で発達障がいをはじめとする障がい児への支援に従事する職員。

研修コース：1週間コース、ペアレント・プログラム（ペアプロ）コース、
出張講座「ほめるコツ～ペアレント・プログラムのエッセンス～」
コース

研 修 内 容：障がい児に対する直接的な支援方法や保護者支援等に関する技術の習得を図ります。

*ペアレント・プログラム：子育ての困り感を丁寧に分析し、子や自身を行動で捉え、できたことをほめる子育て、また、保護者同士の仲間づくりを目指すプログラム。

5) 重症心身障がい、医療的ケア児・者支援者担当職員等実務者研修（生活介護「オアシス」）

2021年度より、地域で重症心身障がいがある児・者や医療的ケアが必要な児・者（以下、当事者という。）に対する支援に従事している職員を対象に、医療的ケア・余暇活動・介護技術の習熟と確認を行うことで、各事業所における中核となる職員を育成し、当事者の社会生活の場の拡充を図ることを目的として開催しています。

6) ペアレント・プログラム（児童発達支援センター つばさ）

2015年度より保護者を対象に、2017年度からは小児療育担当職員等実務研修「ペアレント・プログラム」コースを兼ねたペアレント・プログラムを実施しています。

7) 子育て講座（児童発達支援センター つばさ）

2022年度 子育て講座実施状況

（延べ人数）

テーマ	参加保護者	参加支援者
子育てのコツと工夫Ⅰ	64	9
こどもとあそぼう～幼児期のあそびの紹介～	8	2
ほめるコツ～ペアレント・プログラムのエッセンス～	19	6
食べる動作のコツ	5	1
きがえとトイレ動作のコツ	4	2
こどもにとってあそびとは？	12	1
ことばの発達とコミュニケーションのコツ	28	3
からだの使い方のコツ	20	3
きょうだい支援	5	1
計	165	28

*1テーマにつき複数回ずつ実施している。表はその合計数。

8) 地域支援グループ（理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)）の活動

特別支援学校を対象にしたリハイクは、実際の授業場面や、学校生活に立ち会い、リハビリテーションの視点から教育現場に取り入れやすい支援方法を提案しています。当日の記録は後日、資料として提供しています。市町の特別支援教育への関わりはモデル事業を通じ、講座の開催、教育現場に沿った支援方法の提案、学校主催の相談会へ参加しています。保育園こども園への依頼にも応じています。

(4) ボランティア活動

ボランティア活動は利用者サービスの向上に寄与するとともに、活動者にとっては自己実現のための自発的な活動です。当センターでも『福井県こども療育センターボランティア運営要綱』を定め、活用を図っています。

(5) 広報活動

ホームページおよびパンフレットにて当センターの紹介をしています。

2 沿革

- 昭和 35 年 6 月 肢体不自由児施設「福井県立あかり学園」(定員 50 名)開設
- 昭和 36 年 12 月 母子室 10 床完成(定員 60 名)
- 昭和 42 年 4 月 「福井県あかり整肢園」に名称変更。「福井養護学校」併設
- 昭和 46 年 4 月 肢体不自由児通園センター(定員 30 名)開設
- 昭和 51 年 3 月 福井県児童福祉審議会提言
「医療・福祉・教育各分野での三位一体の機能を持つ心身障害児
総合相談センターが必要である」
- 昭和 54 年 4 月 県立病院内に県立福井養護学校四ツ井分校開校
- 昭和 58 年 4 月 福井県立福井東養護学校開校
- 昭和 58 年 4 月 **福井県小児療育センター開設**
本県の総合療育施設として県立病院敷地内に東養護学校、特殊教育
センターと共に一体的に整備。肢体不自由児施設「つくし園入所部」
(定員 50 名)、同「つくし園通所部」(定員 30 名)、難聴幼児通園施
設「ひばり園」(定員 30 名)を設置。
- 平成 15 年 4 月 小児療育センター再整備基本計画策定
県立病院再整備に伴う「県立総合医療センター」構想の一環として
策定。
(基本理念)
①あらゆる障がい児に対し、総合的かつ高度な医療と福祉を提供
する総合療育センターを目指す。
②県内各圏域の地域療育支援施設や市町村保健センター、保育所
および教育機関等との連携を強化し、本県地域療育の拠点施設
とし貢献するセンターを目指す。
③あらゆる障がい児の成長過程に合わせた QOL(生活の質)の向
上を目指して、個々のニーズにあった施設や人的貢献を提供で
きるセンターを目指す。
- 平成 17 年 4 月 新施設建設開始
- 平成 19 年 4 月 **新施設開設**
「福井県こども療育センター」に名称変更
「福井東養護学校」「特別支援教育センター」「県立看護専門学校」
と共に同じ建物内に一体的に整備された。
「リハビリテーション診療科」を新設。
重症心身障害児(者)通園事業 A 型「オアシス」を開始。
- 平成 24 年 4 月 児童福祉法の改正により、施設部門はそれぞれ、
医療型障害児入所施設つくし園
医療型児童発達支援センターつくし園
福祉型児童発達支援センターひばり園
としてみなし指定。
「オアシス」は児童発達支援・生活介護事業所に変更。
- 平成 25 年 4 月 医療型児童発達支援センターつくし園と福祉型児童発達支援
センターひばり園を統合し、
児童発達支援センター つばさを開設。
- 令和 3 年 4 月 「オアシス」は児童発達支援を休止。

3 職員・各種委員会

当センターの業務運営にかかわる職種別人員と各種委員会は、以下のとおりです。

1) 職種別人員

(2022.4.1 現在)

職種 \ 人員	職員数 〔() は非常勤外数〕	摘 要			
所長 (医師)	1	診療科別医師数			
事務職員	4				
医師	7 (4)				
薬剤師	1				
栄養士	1				
診療放射線技師	1				
臨床検査技師	1				
看護師	28				
公認心理師	3				
医療ソーシャルワーカー	2				
保育士	11				
理学療法士	6				
作業療法士	5				
言語聴覚士	8				
音楽療法員	(1)				
調理師	2				
			常勤	非常勤	兼務
		リハビリテーション科	1		
		小児科	5	1	2
		外科			2
		整形外科	1	1	
		耳鼻咽喉科	1		1
		眼科			1
		児童精神科		2	
		麻酔科			1

(臨時任用職員は含めない)

2) 各種委員会

危機管理委員会
 医局会
 利用者サービス改善委員会
 虐待対応委員会
 情報委員会
 診療録管理・医事委員会
 広報図書委員会
 研修委員会
 感染対策委員会
 薬事委員会
 医療機器安全委員会
 医療ガス安全管理委員会
 療育安全管理委員会
 NST 委員会
 栄養管理委員会
 褥瘡対策チーム
 防災委員会
 倫理審査委員会
 改修委員会

Ⅱ 業務統計

1 療育相談・診療部門

A 外来新患(全診療科)

(1) 相談別集計

(単位：人)

相談内容 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
運動のおくれ	43	46	43
言葉のおくれ	133	146	135
落ち着き、集中	58	95	89
やりとりが苦手	33	22	31
こだわりが強い	7	11	15
学習の苦手さ	21	20	28
不登校／登園しぶり	3	7	8
睡眠について	1	3	4
股関節脱臼	214	212	309
背骨の変形や痛み／痛み	20	40	26
手足の変形／痛み	43	34	38
補装具作成	4	1	1
歩き方など	20	18	23
聴力	7	21	27
発音の問題	25	24	22
診断書作成	2	1	2
その他	46	88	67
合計	680	789	868

(2) 年齢別集計

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
6ヶ月未満	216	231	300
1歳未満	33	58	29
1歳	44	57	76
2歳	65	72	74
3歳	100	107	108
4歳	53	72	91
5歳	52	65	63
6～12歳	98	95	99
13～17歳	18	27	26
18歳以上	1	5	2
合計	680	789	868

(3) 紹介元別集計

(単位：件)

紹介者 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
福 井 県 立 病 院	53	72	40
他 の 医 療 機 関	320	327	474
学 校	17	13	4
幼 稚 園 ・ 保 育 所	15	15	9
児 童 相 談 所	3	3	3
市 町 村	125	173	218
児童発達支援センター	20	18	30
そ の 他	127	168	90
合 計	680	789	868

(4) 住所別集計

(単位：人)

住所 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
福 井 市	308	365	366
永 平 寺 町	22	19	20
坂 井 市	101	113	115
鯖 江 市	61	71	86
あ わ ら 市	13	21	43
越 前 市	61	82	87
越 前 町	11	6	11
池 田 町	0	0	2
勝 山 市	17	21	23
大 野 市	22	23	22
南 越 前 町	7	3	7
嶺北 計	623	724	782
敦 賀 市	24	38	49
美 浜 町	1	2	8
若 狭 町	4	3	5
小 浜 市	0	1	4
高 浜 町	0	0	1
お お い 町	1	1	0
嶺南 計	30	45	67
県内 計	653	769	849
県外 計	27	20	19
合 計	680	789	868

・表の住所：こども療育センターから直線距離で近い順

A-1 各科外来新患分類

(1) 小児科

障害別集計

(単位：人)

障害の区分			年度	2020年度	2021年度	2022年度
神経発達症	神経発達症群	知的発達症		33	26	40
		言語症		34	45	28
		自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞あり)		94	90	115
		自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞なし)		84	113	118
		特異的学習症		8	8	13
		発達性協調運動症		5	10	2
		チック症、トゥレット症候群		0	1	1
		注意欠陥多動症		37	38	48
		吃音症、その他の神経発達症		7	15	9
精神神経疾患	一時的性精神症など	統合失調症、気分症など		0	0	0
	不安関連症群	緘黙、社交不安症、分離不安症など		1	3	4
	強迫症群	身体への反復行動症など		0	0	0
	ストレス関連症群	反応性アタッチメント症 脱抑制性対人交流症 心的外傷後ストレス症など		1	3	1
	衝動制御症群など	間欠爆発症、反抗挑発症など		0	1	1
	その他	睡眠障害、遺尿・遺糞症、食行動症など		1	3	0
その他	染色体、遺伝子の異常など	ダウン症候群		4	8	9
		その他		5	10	3
	その他	不登校など		4	4	6
中枢神経（脳・脊髄）疾患		脳性麻痺（疑いも含む） 中枢性協調障害		3	5	9
		脳血管障害		0	0	1
		脳炎・脳症		1	2	0
		その他		7	5	0
（末梢）神経・筋疾患		筋ジストロフィー		0	0	0
		その他		1	1	0
原因不明の発達の遅れ				5	9	19
言語機能障害		言語発達遅滞		17	6	8
聴覚障害		難聴		0	2	2
音声機能障害		構音障害		0	2	10
小児整形外科疾患		乳児股関節脱臼・亜脱臼		0	1	0
		発育期に特有の下肢の変形		0	2	0
合 計				352	413	447

(2) リハビリテーション科

障害別集計

(単位：人)

大分類	小分類	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経（脳・脊髄）疾患	脳性麻痺（疑い含む） 中枢性協調障害	2	8	4
	二分脊椎	1	0	0
	脳血管障害	1	0	0
	脳炎・脳症	1	0	1
	その他	3	7	1
(末梢) 神経・筋疾患	筋ジストロフィー	2	1	1
	その他	1	1	1
染色体、遺伝子の異常など	ダウン症	11	8	4
	その他	3	4	4
原因不明の運動の遅れ		13	11	11
骨系統疾患	骨系統疾患	0	0	0
小児整形外科疾患	子宮内圧迫症候群	2	0	0
	斜頸	0	0	0
	先天性内反足・内転足など	0	0	1
	乳児股関節脱臼・亜脱臼	0	0	0
	発育期に特有の下肢変形 (O脚・X脚など)、歩容異常	5	20	10
	脊柱変形	0	1	1
	ペルテス病	0	0	0
	筋骨格外傷および後遺症	0	0	2
	その他	4	4	4
精神神経疾患	その他	0	0	2
合 計		49	65	47

(3) 整形外科

障害別集計

(単位：人)

大分類	小分類	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経（脳・脊髄）疾患	脳性麻痺（疑い含む） 中枢性協調障害	0	1	0
	二分脊椎	0	1	1
	脳血管障害	0	0	0
	脳炎・脳症	0	0	0
	その他	0	0	2
（末梢）神経・筋疾患	筋ジストロフィー	0	0	0
	その他	0	0	1
先天異常・染色体異常など	ダウン症	0	0	0
	その他	3	1	0
原因不明の運動の遅れ		1	1	1
骨系統疾患	骨系統疾患	10	1	6
小児整形外科疾患	子宮内圧迫症候群	205	195	311
	斜頸	5	4	12
	先天性内反足・内転足など	6	6	5
	乳児股関節脱臼・亜脱臼	5	18	3
	発育期に特有の下肢変形 （O脚・X脚など）、歩容異常	25	8	28
	脊柱変形	17	39	32
	ペルテス病	1	0	1
	筋骨格外傷および後遺症	6	5	1
	その他	30	67	13
合 計		314	347	417

(4) 耳鼻咽喉科

障害別集計

(単位：人)

障害区分	大分類	2020年度	2021年度	2022年度
聴覚障害	難聴	34	43	55
音声機能障害	構音障害	25	27	16
	その他	7	0	2
言語機能障害	言語発達遅滞	5	9	2
合 計		71	79	75

(5) 児童精神科

障害別集計

(単位：人)

障害区分			年度	2020年度	2021年度	2022年度
神経発達症	神経発達症群	知的発達症		0	0	0
		言語症		0	0	2
		自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞あり)		4	2	6
		自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞なし)		4	4	4
		特異的学習症		0	1	0
		発達性協調運動症		0	0	1
		チック症、トゥレット症候群		0	0	0
		注意欠陥多動症		4	0	1
		吃音症、その他の神経発達症		0	0	0
精神神経疾患	一時的性精神症など	統合失調症、気分症など		0	0	0
	不安関連症群	緘黙、社交不安症、分離不安症など		2	0	3
	強迫症群	身体への反復行動症など		1	0	1
	ストレス関連症群	反応性アタッチメント症 脱抑制性対人交流症 心的外傷後ストレス症など		0	0	1
	衝動制御症群など	間欠爆発症、反抗挑発症など		0	1	0
	その他	睡眠障害、遺尿・遺糞症、食行動症など		0	1	1
その他	染色体、遺伝子の異常など	ダウン症候群		0	0	0
		その他		0	0	0
	その他	不登校など		1	0	0
合 計				16	9	20

B 診療・療育相談

(1) 外来児の取扱数（診療科別延人数）

（単位：人）

科名	年度	2020年度	2021年度	2022年度
小児科		5,266	5,727	5,836
整形外科		1,413	1,610	996
リハビリテーション科		1,209	1,165	957
耳鼻咽喉科		229	264	149
眼科		1	1	0
児童精神科		446	488	555
合計		8,564	9,255	8,493

(2) 手術件数

（単位：件）

術名	年度	2020年度	2021年度	2022年度
選択的多数筋解離手術		0	5	2
股関節脱臼整復手術		0	0	2
脊柱変形矯正手術		8	11	13
骨切り手術（骨盤・大腿骨）		3	0	1
下肢変形矯正手術		6	1	0
足変形矯正手術（内反足、他）		8	5	0
抜釘手術		6	6	4
その他		2	4	3
合計		33	32	25

(3) ボトックス治療実施件数

（単位：件）

項目	年度	2020年度	2021年度	2022年度
ボトックス治療		30	41	47

(4) 診療科別処方箋数

（単位：枚）

診療科 年度	外 来						外来計	入所	合計
	小児科	整形外科	リハ科	耳鼻咽喉科	眼科	児童精神科			
2020年度	83	4	8	23	0	7	125	292	417
2021年度	23	2	1	9	0	2	37	268	305
2022年度	14	0	0	2	0	0	16	195	211

(5) 診療科別調剤数

（単位：件）

診療科 年度	外 来						外来計	入所	合計
	小児科	整形外科	リハ科	耳鼻咽喉科	眼科	児童精神科			
2020年度	189	4	9	23	0	8	233	545	778
2021年度	50	2	2	9	0	2	65	476	541
2022年度	16	0	0	2	0	0	18	265	283

(6) 診療科別調剤延べ日数

(単位：日数)

診療科 年度	外 来						外来計	入所	合計
	小児科	整形外科	リハ科	耳鼻咽喉科	眼科	児童精神科			
2020年度	8,112	220	174	79	0	422	9,007	7,097	16,104
2021年度	1,651	28	120	9	0	86	1,894	8,261	10,155
2022年度	156	0	0	8	0	0	164	6,460	6,624

(7) 診断書・意見書等作成件数

(単位：件)

項目	年度	2020年度	2021年度	2022年度
特 別 児 童 扶 養 手 当		88	271	145
福 祉 手 当 診 断 書		10	24	15
特 別 障 害 者 手 当		2	1	2
身 体 障 害 者 手 帳		19	25	22
意 見 書 類		431	401	473
合 計		550	722	657

(8) 補装具作成件数 (椅子など)

(単位：件)

項目	年度	2020年度	2021年度	2022年度
車 椅 子		53	42	23
電 動 車 椅 子		1	5	1
座 位 保 持 装 置		14	24	24
そ の 他		10	15	15
合 計		78	86	63

(9) 補装具作成件数 (装具)

(単位：件)

項目	年度	2020年度	2021年度	2022年度
短 下 肢 装 具		50	39	47
靴 ・ 足 底 装 具		2	35	34
ア ー チ サ ポ ー ト		209	161	103
体 幹 装 具		31	24	26
長 下 肢 装 具		1	0	3
骨 盤 帶 付 長 下 肢 装 具		3	1	3
股 外 転 装 具		2	2	1
股 脱 治 療 装 具		4	1	3
頭 蓋 矯 正 装 具		13	32	5
そ の 他		67	53	57
合 計		382	348	282

(10) 放射線部位別撮影件数

(単位：件)

撮影部位	年度	2020年度	2021年度	2022年度
頭	部	9	5	4
上	顎	2	0	0
アデノイド		0	0	0
胸	部	10	11	3
頸	椎	50	47	36
胸	椎	1	0	2
腰	椎	5	10	5
股関節		214	194	217
ラウエンスタイン		41	33	46
上	肢	22	9	4
手根骨		99	88	82
大腿骨		7	9	7
下	腿	12	5	5
膝関節		26	13	10
足関節		7	12	4
足	部	52	68	48
全脊柱		393	352	369
下肢全長		148	132	134
その他		14	16	14
合計		1,112	1,004	990

(11) 生理検査件数

(単位：件)

年度	検査	聴性脳幹反応 (ABR)	心電図	脳波検査	屈折検査
2020年度		13	56	32	9
2021年度		9	67	30	23
2022年度		2	47	16	15

(12) 検体検査件数

(単位：件)

項目	年度	2020年度	2021年度	2022年度
生化学検査		1,990	1,807	1,398
血液検査		226	242	210
細菌検査		32	86	56
血清検査		3	4	3
一般検査		55	29	23
病理検査		0	0	0
染色体・遺伝子検査		2	4	1
薬物検査		60	17	22
合計		2,368	2,189	1,713

(13) 心理判定・心理治療件数 (単位：件)

年度		2020年度	2021年度	2022年度
件数				
新規	数	404	402	525
再来	数	316	442	383
合	計	720	844	908

(14) 心理判定・心理治療の障害別実人数 (単位：人)

障害区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経（脳・脊髄）疾患	脳性麻痺（疑い含む）、 中枢性協調障害		23	23	14
	二分脊椎		1	0	0
	脳血管障害		17	0	0
	その他		1	4	0
(末梢)神経・筋疾患	筋ジストロフィー		0	0	0
	その他		0	0	2
先天性異常・染色体異常など	ダウン症		4	7	6
	その他		3	4	3
小児整形外科疾患	ペルテス病		24	38	10
	その他		0	0	2
聴覚障害		難聴	0	0	3
言語機能障害		言語発達遅滞	0	0	1
神経発達症	神経発達症群	知的発達症	68	79	80
		言語症	63	46	80
		自閉スペクトラム症 （言語発達遅滞あり）	153	195	261
		自閉スペクトラム症 （言語発達遅滞なし）	211	300	263
		特異的学習症	6	16	21
		発達性協調運動症	8	6	4
		注意欠如多動症	103	92	149
		吃音症、その他の神経発達症	0	0	3
精神神経疾患	不安関連症群	緘黙、社交不安症 分離不安症など	9	14	3
		強迫症群	身体への反復行動症など	2	0
	ストレス関連症群	反応性アタッチメント症、脱抑制性対人交流症、心的外傷後ストレス症など	3	3	1
		その他	睡眠障害、遺尿・遺糞症、食行動症など	1	0
その他		不登校など	20	14	1
		合 計	720	844	908

(15) 心理治療技法別件数

(単位：件)

治療技法	年度	2020年度	2021年度	2022年度
カウンセリング		121	72	35
特別外来（集団）		0	42	59
合 計		121	114	94

(16) 種類別心理検査実施件数

(単位：件)

検査内容	年度	2020年度	2021年度	2022年度
発達検査	新版 K 式	247	288	340
	遠城寺式	4	7	5
知能検査	田中ビネー	2	28	11
	WISC	90	128	144
性格検査	SCIT	4	3	0
	描画テスト	3	0	1
	その他	1	1	0
その他の検査	PARS	144	185	261
	ADHD評価スケール	96	113	135
	その他	8	5	7
合 計		599	758	904

(17) 医療ソーシャルワーカー相談件数

(単位：件)

内容	年度	2020年度	2021年度	2022年度
インテーク受理		904	986	989
要保護・要支援児童対応		52	33	33

(18) 栄養指導延件数

(単位：件)

療育部門	年度	2020年度		2021年度		2022年度	
		個別	集団	個別	集団	個別	集団
通所施設（つばさ・「オアシス」）		1	0	0	0	0	0
医療型障害児入所施設つくし園		0	2	0	0	0	0
外 来		1	0	4	0	6	0
合 計		2	2	4	0	6	0

C リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法・音楽療法）

（１）理学療法の障害別実施件数（延）

a. 外 来

（単位：件）

障害区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 （脳・脊髄）疾患	脳性麻痺（疑い含む）中枢性協調障害		1,558	1,553	1731
	二分脊椎		163	218	215
	脳血管障害		18	38	58
	脳炎・脳症		349	212	180
	その他		421	350	331
（末梢）神経・筋疾患	筋ジストロフィー		215	192	146
	その他		65	66	111
先天性異常・染色体異常など	ダウン症		348	200	247
	その他		446	472	479
原因不明の運動の遅れ			369	350	462
骨系統疾患		骨系統疾患	51	11	5
小児整形外科疾患	子宮内圧迫症候群		3	0	0
	先天性内反足・内転足など		1	65	73
	乳児股関節脱臼・亜脱臼		14	3	25
	発育期特有の下肢変形、歩容異常		1	28	29
	脊柱変形		13	55	57
	ペルテス病		1	8	3
	筋骨格外傷および後遺症		6	38	39
	その他		76	69	64
神経発達症	神経発達症群	自閉スペクトラム症（言語発達遅滞あり）	25	53	26
		自閉スペクトラム症（言語発達遅滞なし）	56	96	82
		発達性協調運動症	2	17	73
そ の 他		不登校など	14	5	0
合 計			4,215	4,099	4,436

b. 医療型障害児入所施設 つくし園

（単位：件）

障害区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 （脳・脊髄）疾患	脳性麻痺（疑い含む）中枢性協調障害		420	762	178
	二分脊椎		111	58	0
	脳炎・脳症		94	120	10
抹消神経・筋疾患	その他		0	0	20
骨系統疾患		骨系統疾患	44	0	0
小児整形外科疾患	乳児股関節脱臼・亜脱臼		11	13	475
	ペルテス病		465	334	212
合 計			1,145	1,287	895

(2) 理学療法の年齢別実施人数 (実数)

a. 外 来

(単位：人)

年 齢 \ 年 度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	23	24	20
1 歳	45	48	49
2 歳	25	22	20
3 歳	21	18	19
4 歳	23	22	19
5 歳	23	27	17
6～12歳	77	103	89
13～17歳	56	55	43
18歳以上	23	26	22
合 計	316	345	298

b. 医療型障害児入所施設 つくし園

(単位：人)

年 齢 \ 年 度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	1	1	0
1 歳	0	0	0
2 歳	0	0	2
3 歳	0	1	0
4 歳	3	1	1
5 歳	0	2	1
6～12歳	9	4	3
13歳以上	4	4	4
合 計	17	13	11

(3) 作業療法の障害別実施件数 (延)

a. 外 来

(単位：件)

障害区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 (脳・脊髄) 疾患	脳性麻痺 (疑い含む) 中枢性協調障害		379	357	374
	二分脊椎		89	78	86
	脳血管障害		25	18	15
	脳炎・脳症		50	25	21
	その他		89	25	85
(末梢) 神経・筋疾患	筋ジストロフィー・その他		13	31	24
先天性異常 染色体異常など	ダウン症		171	129	141
	その他		261	236	153
原因不明の運動の遅れ			277	239	204
骨系統疾患	骨系統疾患		15	10	15
小児整形外科疾患	先天性内反足・内転足など		5	1	0
	筋骨格外傷および後遺症		21	24	19
	その他		2	0	2
神経発達症	神経発達症群	知的発達症	115	110	87
		言語症	16	64	189
		自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞あり)	823	1,065	1449
		自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞なし)	371	367	399
		特異的学習症	40	21	12
		発達性協調運動症	247	311	132
		注意欠如多動症	67	4	48
		吃音症、その他の神経発達症	17	0	0
精神神経疾患	不安関連症群	緘黙、社交不安症、分離不安症など	16	2	15
合 計			3,109	3,117	3470

b. 医療型障害児入所施設 つくし園

(単位：件)

		年度	2020年度	2021年度	2022年度
障害区分					
中枢神経 （脳・脊髄）疾患		脳性麻痺（疑い含む）中枢性協調障害	144	143	2
		二分脊椎	37	11	0
小児整形外科疾患		その他	2	0	1
神経 発達 症	神経発達症群	特異的学習症	54	1	0
		発達性協調運動症	9	0	1
合 計			246	155	4

(4) 作業療法の年齢別実施人数 (実数)

a. 外 来

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	1	0	0
1 歳	12	12	10
2 歳	54	59	59
3 歳	85	87	101
4 歳	71	89	114
5 歳	56	74	106
6～12歳	78	59	67
13～17歳	21	20	9
18歳以上	6	2	3
合 計	384	402	469

b. 医療型障害児入所施設 つくし園

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	2	1	1
1 歳	0	0	0
2 歳	0	0	1
3 歳	0	2	0
4 歳	1	0	0
5 歳	0	0	1
6～12歳	1	2	0
13歳以上	4	2	1
合 計	8	8	4

(5) 言語聴覚療法の障害別実施件数 (延)

a. 外 来

(単位: 件)

障害区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 (脳・脊髄) 疾患	脳性麻痺 (疑い含む) 中枢性協調障害		69	68	76
	二分脊椎		8	0	0
	脳血管障害		47	53	54
	脳炎・脳症		95	68	50
	その他		13	86	96
(末梢) 神経・筋疾患	筋ジストロフィー		0	0	0
	その他		2	0	1
先天性異常・染色体異常など	ダウン症		205	231	233
	その他		194	207	226
原因不明の運動の遅れ			71	42	87
小児整形外科疾患	その他		1	0	5
聴覚障害	難聴		94	138	146
音声機能障害	構音障害		372	384	364
神経発達症	知的発達症		319	115	106
	言語症		1,636	2,014	1547
	自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞あり)		2,352	2,267	2,134
	自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞なし)		146	130	178
	特異的学習症		83	82	77
	注意欠如多動症		66	55	58
	吃音症、その他の神経発達症		43	33	71
精神神経疾患	不安関連症群	緘黙、社交不安症、分離不安症など	37	3	2
合 計			5,853	5,976	5,511

b. 医療型障害児入所施設 つくし園

(単位: 件)

障害区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 (脳・脊髄) 疾患	脳性麻痺 (疑い含む) 中枢性協調障害		2	77	1
	脳血管障害		42	0	1
先天性異常など	その他、末梢神経疾患		0	55	0
小児整形外科疾患	ペルテス病		1	0	0
神経発達症	神経発達症群	知的発達症	9	0	0
合 計			54	132	2

(6) 言語聴覚療法の年齢別実施人数 (実数)

a. 外 来

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	5	4	1
1 歳	14	23	14
2 歳	69	86	67
3 歳	152	169	164
4 歳	142	190	210
5 歳	157	152	208
6～12歳	172	177	185
13～17歳	12	11	5
18歳以上	10	10	1
合 計	733	822	855

b. 医療型障害児入所施設 つくし園

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	0	0	0
1 歳	0	0	0
2 歳	0	0	0
3 歳	0	2	0
4 歳	0	0	0
5 歳	1	2	1
6～12歳	2	1	1
13歳以上	2	1	0
合 計	5	6	2

(7) 音楽療法の障害別実施件数 (延)

a. 医療型障害児入所施設 つくし園

(単位：件)

障害区分			年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 (脳・脊髄) 疾患	脳性麻痺 (疑い含む) 中枢性協調障害			55	103	89
	二分脊椎			13	20	0
	脳血管障害			6	0	3
	脳炎・脳症			27	30	0
	その他			0	0	8
小児整形外科疾患	乳児股関節脱臼・亜脱臼			8	0	34
	ペルテス病			77	45	32
	その他			0	0	35
神経発達症	神経発達症群	知的発達症		29	42	43
合 計				215	240	244

b. 児童発達支援センター つばさ

(単位：件)

障害区分			年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 (脳・脊髄) 疾患	脳性麻痺（疑い含む）中枢性協調障害			21	4	30
	脳炎・脳症			46	11	40
	その他			9	0	0
先天性異常・染色体異常など	ダウン症			49	10	0
	その他			3	8	40
原因不明の運動の遅れ				56	41	46
神経発達症	神経発達症群	自閉スペクトラム症 (言語発達遅滞あり)		159	79	199
合 計				343	153	355

c. 生活介護事業所 「オアシス」

(単位：件)

		年度	2020年度	2021年度	2022年度
障害区分					
中枢神経 (脳・脊髄) 疾患	脳性麻痺（疑い含む）中枢性協調障害		176	135	181
	脳炎・脳症		10	7	11
	その他		67	42	74
先天性異常・染色体異常など	その他		31	52	50
合 計			284	236	316

2021年4月より児童発達支援休止中

(8) 音楽療法の年齢別実施人数 (実数)

a. 医療型障害児入所施設 つくし園

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	0	0	0
1 歳	0	0	0
2 歳	0	2	2
3 歳	0	0	0
4 歳	1	1	0
5 歳	1	0	2
6～12歳	8	5	3
13歳以上	4	17	11
合 計	14	25	18

b. 児童発達支援センター つばさ

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	2	0	0
1 歳	10	5	4
2 歳	11	11	17
3 歳	15	10	13
4 歳	5	7	9
5 歳	2	0	2
6 歳	0	0	0
合 計	45	33	45

c. 生活介護事業所 「オアシス」

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	0		
1 歳	0		
2 歳	0		
3 歳	0		
4 歳	0		
5 歳	1		
6 歳	0		
18～20歳	7	7	5
21～30歳	8	9	11
30歳以上	7	9	8
合 計	23	25	24

※2021年4月より児童発達支援休止中

2 福祉施設部門

A 医療型障害児入所施設 つくし園

(1) 月別在籍数 (初日現在)

(単位：人)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年度	8	7	7	8	7	8	8	10	10	10	10	9
2021年度	8	6	6	6	5	6	9	9	7	7	7	6
2022年度	5	5	4	5	7	5	6	5	5	4	3	4

(2) 障害別集計 ※短期入所児は除く

(単位：人)

障害の区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経（脳・脊髄）疾患	脳性麻痺（疑い含む） 中枢性協調障害		5	8	3
	二分脊椎		2	1	0
	脳血管障害		1	0	1
	脳炎・脳症		1	0	0
	その他		0	1	2
末梢神経疾患	その他		0	1	0
小児整形外科疾患	乳児股関節脱臼・亜脱臼		6	2	3
	ペルテス病		3	2	2
	その他		0	0	1
神経発達症	神経発達症群	知的発達症	1	1	1
合 計			19	16	13

(3) 年齢別集計 (入所時)

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	4	2	2
1 歳	0	0	0
2 歳	1	0	2
3 歳	0	2	0
4 歳	1	0	1
5 歳	1	2	1
6～12歳	8	5	3
13～17歳	4	5	4
合 計	19	16	13

(4) 住所別集計

(単位：人)

住所 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
福井市	10	7	7
坂井市	2	1	0
鯖江市	1	1	3
あわら市	1	0	1
越前市	2	3	0
越前町	1	1	1
大野市	2	2	1
敦賀市	0	1	0
合 計	19	16	13

・表の住所：こども療育センターから直線距離で近い順

(5) 進路別集計（退所時）

(単位：人)

進路 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
特別支援学校	3	1	1
特別支援学級	0	0	1
高等学校	0	1	0
中学校	0	1	1
小学校	2	2	1
幼稚園・保育所	2	4	2
他の福祉施設	1	1	1
在宅	5	2	3
転院	0	0	0
死亡	0	0	0
合 計	13	12	10

(6) 在籍期間別集計（退所時）

(単位：人)

期間 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
3ヶ月未満	9	7	6
6ヶ月未満	2	1	0
1年未満	0	2	2
2年未満	1	0	0
3年未満	0	1	1
3年以上	1	1	1
合 計	13	12	10

(7) 重複症状別人数

(単位：人)

知的障害 の程度	IQ	動作能力の 制限	走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり
		年度					
なし	86以上	2020年度	0	2	1	0	0
		2021年度	0	3	0	0	0
		2022年度	0	1	0	0	0
境界域	76～85	2020年度	0	0	0	3	0
		2021年度	0	0	0	1	1
		2022年度	0	0	0	1	0
軽度	51～75	2020年度	0	1	0	0	0
		2021年度	0	1	1	0	0
		2022年度	2	1	0	0	0
中度	36～50	2020年度	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	1	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0
重度	21～35	2020年度	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	1	1	1
		2022年度	0	0	0	0	0
最重度	20以下	2020年度	0	0	0	1	3
		2021年度	0	0	0	0	1
		2022年度	0	0	0	1	1

・重症心身障害：“重度から最重度”の知的障害と“寝たきり”もしくは“座れる”レベルの動作能力の制限とを併せ持つ状態（大島分類）

・上記集計には、ペルテス病・股関節脱臼は含まない

B 児童発達支援センター つばさ

(1) 月別在籍数 (初日現在)

(単位: 人)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年度	29	28	28	28	32	32	35	40	40	39	40	39
2021年度	22	23	24	25	27	25	26	27	28	30	30	30
2022年度	22	25	26	27	32	35	38	39	40	40	39	41

(2) 障害別集計

(単位: 人)

障害の区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経 (脳・脊髄) 疾患	脳性麻痺 (疑い含む) 中枢性協調障害		2	1	2
	二分脊椎		0	0	0
	脳血管障害		0	0	0
	脳炎・脳症		5	4	4
	その他		2	1	1
(末梢) 神経・筋疾患	筋ジストロフィー		0	0	0
	その他		0	0	0
先天性異常・染色体異常 など	ダウン症		6	1	0
	その他		1	2	6
原因不明の運動の遅れ			7	4	4
骨系統疾患	骨系統疾患		0	0	0
小児整形外科疾患	子宮内圧迫症候群		0	0	0
	斜頸		0	0	0
	先天性内反足・内転足など		0	0	0
	乳児股関節脱臼・亜脱臼		0	0	0
	発達期に特有の下肢変形 (O脚・X脚)		0	0	0
	脊椎変形		0	0	0
	ペルテス病		0	0	0
	外骨格外傷および後遺症		0	0	0
	その他		0	0	0
神経発達症候群	自閉症スペクトラム (言語発達遅延あり)		24	24	30
	自閉症スペクトラム (言語発達遅延なし)		0	0	0
	発達性学習症		0	0	0
	発達性協調運動症		0	0	0
	チック症、トゥレット症候群		0	0	0
	注意欠陥多動性症		0	0	0
	その他神経発達症		0	0	0
合計			47	37	47

(3) 年齢別集計 (通所開始時)

(単位：人)

年齢	年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳		1	0	0
1 歳		15	10	8
2 歳		18	14	16
3 歳		10	11	16
4 歳		3	2	5
5 歳		0	0	2
6 歳		0	0	0
合 計		131	84	47

(4) 住所別集計

(単位：人)

住所	年度	2020年度	2021年度	2022年度
福 井 市		21	16	21
坂 井 市		3	7	7
鯖 江 市		2	2	3
あわら市		4	2	1
越 前 市		7	6	9
越 前 町		2	0	0
勝 山 市		2	0	0
大 野 市		2	0	1
南越前町		4	4	3
永平寺町		0	0	1
美 浜 町		0	0	1
合 計		84	84	47

・表の住所：こども療育センターから直線距離で近い順

(5) 進路別集計 (退所時)

(単位：人)

進路	年度	2020年度	2021年度	2022年度
児 童 福 祉 施 設		2	2	0
特 別 支 援 学 校		2	0	2
特 別 支 援 校 (盲 ・ ろ う) 学 校 (幼 稚 部 含 む)		0	0	2
小 学 校		0	0	0
幼 稚 園 ・ 保 育 所		21	15	18
在 宅 (未 就 学 ・ 未 就 園)		1	0	2
そ の 他		0	0	0
合 計		43	41	24

(6) 在籍期間別集計 (退所時)

(単位：人)

期間 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
3ヶ月未満	0	0	0
6ヶ月未満	2	1	0
1年未満	6	0	5
2年未満	13	11	13
3年未満	3	3	2
3年以上	2	0	4
合計	26	15	24

(7) 重複症状別人数

(単位：人)

知的障害 の程度	IQ	動作能力の 制限 年度	走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり
なし	86以上	2020年度	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0
境界域	76～85	2020年度	4	0	0	0	0
		2021年度	3	0	0	0	0
		2022年度	6	0	0	0	0
軽度	51～75	2020年度	18	1	4	1	0
		2021年度	18	0	2	0	0
		2022年度	21	1	1	0	1
中度	36～50	2020年度	4	4	3	0	0
		2021年度	6	1	1	0	0
		2022年度	4	3	1	1	1
重度	21～35	2020年度	0	0	1	1	2
		2021年度	0	0	1	0	3
		2022年度	0	0	1	1	3
最重度	20以下	2020年度	0	0	0	0	4
		2021年度	0	0	0	0	2
		2022年度	0	0	0	0	2

・重症心身障害：“重度から最重度”の知的障害と“寝たきり”もしくは“座れる”レベルの動作能力の制限とを併せ持つ状態（大島分類）

・2021年4月以前に入園した児は2021年4月1日付の状況、年度途中に入園した児は入園時の状況

(8) 水治療室利用件数

(単位：件)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	児	7	7	22	18	32	27	26	24	26	9	16	235
	保護者	7	7	22	18	32	27	26	24	26	11	16	237
2021年度	児	12	14	17	23	27	21	12	21	13	20	17	213
	保護者	12	14	17	23	28	21	12	21	13	20	17	214
2022年度	児	10	14	26	27	26	32	25	21	8	22	27	260
	保護者	10	14	26	27	26	32	25	21	8	22	27	260

C 生活介護事業所「オアシス」

(1) 月別在籍数(初日現在)

(単位：人)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年度	23	24	24	24	23	23	23	23	23	23	23	23
2021年度	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
2022年度	23	24	24	24	24	24	24	24	24	23	22	22

(2) 月別利用者延べ人数

(単位：人)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	92	94	135	121	118	120	134	115	124	80	93	139	1,365
2021年度	127	107	133	125	122	115	132	126	123	108	98	129	1,445
2022年度	114	109	129	110	108	111	110	117	113	100	108	125	1,354

(3) 障害別集計

(単位：人)

障害区分		年度	2020年度	2021年度	2022年度
中枢神経(脳・脊髄)疾患	脳性麻痺(疑い含む)、 中枢性協調障害		14	13	13
	脳血管障害		0	0	0
	脳炎・脳症		1	1	1
	その他		6	7	6
先天性異常・染色体異常 など	ダウン症		0	0	0
	その他		2	3	3
合 計			23	24	23

(4) 年齢別集計(年度開始時)

(単位：人)

年齢 \ 年度	2020年度	2021年度	2022年度
0 歳	0		
1 歳	0		
2 歳	0		
3 歳	0		
4 歳	0		
5 歳	1		
6 歳	0		
18～20歳	6	6	5
21～30歳	8	11	11
31歳以上	8	7	7
合 計	23	24	23

2021年4月より児童発達支援休止中

(5) 住所別集計

(単位：人)

住所	年度	2020年度	2021年度	2022年度
福井市		14	14	14
坂井市		7	8	7
鯖江市		2	2	2
合 計		23	24	23

・表の住所：こども療育センターから直線距離で近い順

(6) 入浴利用者延べ人数

(単位：人)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度		59	53	75	68	66	66	74	62	68	44	57	74	766
2021年度		74	63	79	71	62	65	79	78	70	65	57	74	837
2022年度		71	68	76	62	65	66	68	73	67	61	60	68	805

(7) バス通所利用者数延べ人数

(単位：人)

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度		55	53	66	58	62	59	66	55	61	24	51	65	675
2021年度		66	58	67	65	64	54	68	66	58	55	47	63	731
2022年度		61	58	64	37	55	53	59	62	56	48	58	66	677

(8) 重複症状別人数

(単位：人)

知的障害の程度	IQ	動作能力 の制限 年度	走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり
軽度	51～75	2020年度	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0
中度	36～50	2020年度	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0
重度	21～35	2020年度	0	0	0	0	7
		2021年度	0	0	0	0	7
		2022年度	0	0	0	0	6
最重度	20以下	2020年度	0	0	0	5	12
		2021年度	0	0	0	6	12
		2022年度	0	0	0	5	13

・重症心身障害：“重度から最重度”の知的障害と“寝たきり”もしくは“座れる”レベルの動作能力の制限とを併せ持つ状態（大島分類）

D 短期入所

(1) 利用件数

(単位：人)

年 度	2020年度		2021年度		2022年度	
	実人員	延人数 (日帰り)	実人員	延人数 (日帰り)	実人員	延人数 (日帰り)
合 計	49	1,204 (142)	40	1,575 (275)	48	1,649 (257)

・() は内数

(2) 重複症状別人数

(単位：人)

知的障害 の程度	IQ	動作能力の 制限	走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり
		年度					
なし	86以上	2020年度	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	1
境界域	76～85	2020年度	0	0	0	0	0
		2021年度	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0
軽度	51～75	2020年度	0	0	0	1	0
		2021年度	0	0	0	1	0
		2022年度	0	0	0	1	0
中度	36～50	2020年度	0	0	0	1	0
		2021年度	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0
重度	21～35	2020年度	0	1	0	1	4
		2021年度	0	0	0	1	2
		2022年度	0	1	0	0	3
最重度	20以下	2020年度	0	0	2	6	33
		2021年度	0	0	0	6	30
		2022年度	0	0	1	7	34

・重症心身障害：“重度から最重度”の知的障害と“寝たきり”もしくは“座れる”レベルの動作能力の制限とを併せ持つ状態（大島分類）

3 地域支援活動

A 療育研修会

事業	年度	2020年度	2021年度	2022年度
開催数		3	3	3
参加者		155	228	200

2022年度療育研修会 内容

新型コロナウイルス感染予防のため、Microsoft Teamsを利用し事業所対象にオンライン開催とした。

第1回「療育ってなあに、支援ってなあに、連携ってなあに
～お子さん、ご家族、そして支援に携わる皆様にお伝えしたいこと～」

2022年8月28日（日）10:00～12:00

講師：辻 清張先生

（理学療法士・小児理学療法学会理事・リハビリテーション工学協会評議員）

第2回「医療的ケア児等 コーディネーターの実践 ～医療的ケア児の豊かな地域生活～」

2022年11月19日（日）13:30～15:30

講師：増子 邦行先生（認定NPO法人フローレンス 社会福祉士 児童発達支援管理責任者）

第3回「事例から見えてくる 障がいがある子の子育て ～頑張らないで！一人じゃないよ～」

2023年2月18日（土）13:00～15:30

講師：前野 篤史先生

（障がい者サポートセンタースマイルフレンズ副所長、サービス提供責任者）

川谷 正男先生（福井県こども療育センター 医療課長 小児科医師）

B 療育支援活動（2022年度）

（1）診療科別実施状況

a. 小児科・児童精神科

派遣場所	対象・業務内容など	回数	内容分類				
			個別 相談	保護者 支援	職員 支援	検診	会議 講義
オンライン	福井県教育ネットワーク会議	1					○
オンライン	福井県発達障がい協議会	1					○
オンライン	療育拠点病院事業連絡会	1					○
オンライン	福井大学教育学部附属特別支援学校評議員会	3					○
オンライン 社会福祉センター	保育士キャリアアップ研修会	2			○		
オンライン 県庁会議室	保育カウンセラー研修会 （こども家庭課）	2			○		○
オンライン 美浜東小学校	美浜町就学前健診研修会	3		○			
図書室	スクラム福井ペアトレ研修会	1					○
福井県医師会館	福井市医師会学校医研修会	1					○
福井県国際交流会館	福井県周産期医療協議会	1					○
福井県こども療育センター（オンライン含）	福井市自立支援協議会こども部会	4					○
福井県こども療育センター（オンライン含）	福井県小児医療体制会議	1					○
福井県こども療育センター	小児療育担当職員等実務研修事前研修会	1					○
福井県障害福祉課	福井県障害福祉課連絡会議	1					○
福井県特別支援教育センター	令和4年度医療的ケア特定行為従事者（教員）研修	1			○		○
福井県特別支援教育センター	福井県特別支援教育センター連絡会議	2					○
福井県特別支援教育センター・きらきら館	福井市教育支援委員会	7		○			○
福井県立看護専門学校	看護学生講義	1					○
福井県立看護専門学校	小児看護学講義、試験	1					○
福井県社会福祉協議会	保育士等キャリアアップ研修事業	2			○		○
福井市子育て支援課	福井市特定教育・保育施設発達相談会	2	○				
福井市役所	福井県虐待検討委員会 （社会福祉審議会）	1					○
福井市役所	福井市特別支援教育専門委員会・地区別連絡会議	3			○		○
越前市児童発達支援センターなないろ	越前市療育研修会	1					○
越前市アルプラザ	越前市療育体制会議	4					○

b. 整形外科

派遣場所	対象・業務内容など	回数	内容分類				
			個別 相談	保護者 支援	職員 支援	検診	会議 講義
特別教育支援センター	特別支援学校入学児の判定	3					○
市立敦賀病院 小児整形外科 相談外来	嶺南地区の児童	4					○

c. 耳鼻咽喉科

派遣場所	対象・業務内容など	回数	内容分類				
			個別 相談	保護者 支援	職員 支援	検診	会議 講義
特別教育支援センター	特別支援学校入学児の判定	3					○
盲学校	耳鼻科検診	1				○	

d. リハビリテーション室 (ST) ・耳鼻咽喉科

事業名	参加職種	回数
福井県新生児聴覚検査協議会	医療関係、教育関係、行政関係	1
聴覚障がい児・者支援における連絡会	福井大学医学部付属病院 医師、聾学校教諭	2

(2) 地域支援課実施状況

a. 児童発達支援センター つばさ 保育士

事業名	対象・業務内容など	回数 人数 など	内容分類				
			個別 相談	保護者 支援	職員 支援	健診	会議 講義
小児療育担当職員等実務研修 (1週間コース)	県内の各機関の支援者	9名			○		
小児療育担当職員等実務研修 (ペアプロコース)	県内の各機関の支援者	8名			○		
ペアレント・プログラム	保護者	23名		○			
子育て講座	保護者、県内の各機関の 支援者	193名		○	○		
出張講座「ほめるコツ ～ペアレント・プログラムの エッセンス～」	県内の各機関の支援者	4回			○		

(3) 生活支援課実施状況

a. 生活介護事業所「オアシス」

事業名	対象・業務内容など	回数 人数 など	内容分類				
			個別 相談	保護者 支援	職員 支援	健診	会議 講義
重症心身障がい、医療的ケア 児・者 支援担当職員等実務研修	県内の各機関の支援者	9名			○		

(4) 特別支援学校リハビリ相談事業～リハイク～実施状況

a. 特別支援学校(特別支援学校リハビリ相談事業～リハイク～) 個別相談

学校名	P T		O T		S T	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数
奥越特別支援学校	2	4	2	2	1	4
清水特別支援学校	1	2	2	2	2	3
南越特別支援学校	4	9	4	11	4	10
福井特別支援学校	4	8	4	7	1	1
福井南特別支援学校	2	2	2	2	3	3
福井東特別支援学校	0	0	0	0	0	0
福井大学教育地域科学部 附属特別支援学校	2	2	2	1	1	1
盲学校	1	1	0	0	0	0
嶺南西特別支援学校	1	3	0	0	2	9
嶺南東特別支援学校	1	1	4	5	2	2
嶺北特別支援学校	3	6	5	8	4	5
ろう学校	1	1	1	1	5	7
計	22	39	26	39	25	45

支援 内容	対応件数		
	P T	O T	S T
姿勢	13	7	3
運動	24	4	2
呼吸	1		1
生活 動作	2	26	6
学習 作業		19	1
言語 理解		3	8
言語 表出			17
構音			15
摂食			7

b. 特別支援学校(特別支援学校リハビリ相談事業～リハイク～) 講座

学校名	職種	回数
ろう学校	ST	1
盲学校	PT	1
福井特別支援学校	OT	1
清水特別支援学校	ST	1

c. 特別支援教育への関わり

支援先		職種	回数	支援内容			
				授業 参観	職員 支援	会議	講座
小学校	福井市	OT・ST	1		○		○
	越前市	OT・ST	3	○	○	○	
	越前町	PT・OT	4	○	○	○	
特別支援学校	ろう学校	ST	1		○		
	清水特別支援学校	ST	1		○		

d. 保育所こども園への関わり

支援先	市町	職種	回数	支援内容			
				授業 参観	職員 支援	会議	講座
保育園	福井市	OT	6	○	○	○	○
幼稚園	福井市	PT・OT・ST	2	○			○

C. 嶺南地域療育機能強化支援事業（2022年度）

a. 医療機関

派遣場所		職種	回数	件数		内容分類				
				診療	相談	個別相談	保護者支援	職員支援	会議	診療
地域療育拠点委託医療機関	杉田玄白記念公立小浜病院	理学療法士	10	26	3			○		○
		作業療法士	10	27	5			○	○	○
		言語聴覚士	115	191	247			○	○	○
		公認心理師	62	64	0			○		○
	市立敦賀病院	理学療法士	0	0	0			○		○
		作業療法士	3	5	5			○		○
		言語聴覚士	18	32	52			○	○	○

b. 児童発達支援センター

派遣場所		職種	回数 (学習会)	件数	内容分類				
					個別相談	保護者支援	職員支援	会議	診療
地域療育拠点委託事業所	敦賀市立子ども発達支援センター パラレル	理学療法士	7	18	○	○	○		
		言語聴覚士	8	19	○	○	○		
	小浜市母と子の家 児童発達支援センター CokoUta	理学療法士	3	9	○	○	○		
		言語聴覚士	24(4)	133	○	○	○	○	
		公認心理師	23(4)	127	○	○	○	○	

C. 嶺南地域療育機能強化支援事業（2022年度）

c. 市町

派遣先・事業内容など		職種	回数 (学習 会)	件数	内容分類				
					個別 相談	保護 者 支援	職員 支援	会議	診療
敦賀市	乳幼児健診後経過 観察教室(のびの び)	言語聴覚士	5	14	○	○	○	○	
	発達支援教室(す てっぷ)	言語聴覚士	8	22	○	○	○	○	
	敦賀市自立支援協 議会 講師	公認心理師 言語聴覚士	1	42			○	○	
小浜市	乳幼児健診後経過 観察教室(すまい る)	言語聴覚士	11(6)	48	○	○	○	○	
		公認心理師	7(2)	20	○	○	○	○	
	1歳半健診	言語聴覚士	6	100			○	○	
		公認心理師	7	126			○	○	
	3歳児健診	言語聴覚士	6	98			○	○	
		公認心理師	5	82			○	○	
美浜町	子育て支援セン ター 育児講座	言語聴覚士	1	9	○	○	○	○	
	2歳児育児教室	言語聴覚士	3(1)	35	○	○	○	○	
若狭町	1歳半健診	言語聴覚士	6	105			○	○	
	3歳児健診	公認心理師	7	91			○	○	
	2歳児育児教室	公認心理師	12(12)	86	○	○	○	○	
	子育て支援セン ター 育児講座 (す くすく広場)	公認心理師	1	10	○	○	○	○	
おおい町	乳幼児健診後経過 観察教室(はぐは ぐ)	言語聴覚士	11(5)	74	○	○	○	○	
	乳幼児健診	言語聴覚士	4	58			○	○	
		公認心理師	8	124			○	○	
高浜町	乳幼児健診後経過 観察教室(すくすく 教室)	公認心理師	12	45	○	○	○	○	
	3歳半健診	公認心理師	6	67			○	○	

4 その他の活動

A ボランティア活動

(1) ボランティアの受入状況 (延人数)

(単位：人)

年度		2020年度	2021年度	2022年度
ボランティア				
団	体	26	30	0
個	人	0	1	0

B 実習・見学

(1) 実習生研修状況

(単位：人)

年度		2020年度	2021年度	2022年度
研修				
保 育	実 人 員	6	31	6
	延 人 数	39	160	56
作 業 療 法	実 人 員	0	0	0
	延 人 数	0	0	0
理 学 療 法	実 人 員	0	2	0
	延 人 数	0	20	0
言 語 聴 覚 療 法	実 人 員	0	0	0
	延 人 数	0	0	0
心 理	実 人 員	1	1	2
	延 人 数	7	7	2
看 護	実 人 員	82	51	51
	延 人 数	138	126	51
医 師	実 人 員	0	0	3
	延 人 数	0	0	3

(2) 施設見学・視察受入状況

年度		2020年度	2021年度	2022年度
視察・見学				
件	数	11	5	16
人	数	31	23	25

C 水治療室の利用者別実施人数 (延)

(単位：人)

年度		2020年度	2021年度	2022年度
部門				
理 学 療 法		596	488	454
児童発達支援センターつばさ		475	431	520
福 井 東 特 別 支 援 学 校		219	196	142
合 計		1,290	1,115	1,116

Ⅲ 研究業績

1 学会発表

・木下 美智子(作業療法士)、佐々木 夏代(理学療法士)、土田 久美子(言語聴覚士)、小林 拓美(理学療法士)

年月日	2022 年 10 月 20 日 ～ 11 月 18 日
場 所	岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター、オンデマンド配信
名 称	全国肢体不自由児療育研究会
タイトル	学校を理解して支援することができる作業療法士を目指して ～リハイクの実践から～
要 旨	福井県こども療育センターの地域支援課に所属する作業療法士が行った特別支援学校リハビリ相談事業リハイクの取り組みを基に、学校現場で取り組める作業療法士支援についてまとめた。リハイクでは、学校生活をさえぎらず、日常、過ごしている環境の中で児童を観察し、活動や環境と児童を相互的に評価し整理すること、加えて、教員からの情報と照らし合わせながら学校でできる支援を提案するものであった。今回の作業療法士の取り組みは、学校の支援として有用であったと言えるが、福祉制度や診療の一貫ではなく、センター独自の地域支援であり、よい形で継続していくためには運営の方法について今後も検討が必要であると考えている。

・木下 美智子(作業療法士)、稲木 美紀(公認心理師)、橋本 登茂江(保育専門官)、大森 美和(西藤島保育園長)、津田 明美(医師)

年月日	2023 年 2 月 11 日
場 所	オンライン(福井県)
名 称	福井県小児保健協会学術集会
タイトル	福井市公立園研究指定園と作業療法士の関わり ～感覚統合の視点を取り入れた保育を通じて～
要 旨	福井市では「福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム」を進めている。福井県こども療育センター作業療法士は 2019 年度より福井市西藤島保育園が取り組む「感覚統合の視点を持つ研究」の助言者として携わっている。今回、「感覚統合の視点を取り入れた保育」をキーワードに保育士と作業療法士がどのように学び日々の保育実践に活かすことができたのか経過をまとめ報告した。

・木下 美智子(作業療法士)、佐々木 夏代(理学療法士)、土田 久美子(言語聴覚士)、
稲木 美紀(公認心理師)、小林 拓美(理学療法士)、津田 明美(医師)

年月日	2023 年 3 月 19 日
場 所	オンライン (福井県)
名 称	福井県作業療法士学会
タイトル	特別支援教育と作業療法士の関わり～学校リハアンケートとモデル事業の取り組み～
要 旨	学校現場とリハビリ職に関するアンケートと2市町を対象に行った特別支援教育相談モデル事業の取り組みを基に、地域の学校現場において作業療法士ができることについてまとめ報告した。地域の学校現場へ関わる時には、今までの経過の聞き取りから当日の立ち振る舞いなどを含めて事前の打ち合わせが重要であった。作業療法士、理学療法士、言語聴覚士でまとめた報告書は教員内で共有するツールとして使用できた。今後も医療と教育がお互いに知っていくための仕組みを継続していきたい。

・小林 拓美 (理学療法士)

年月日	2022 年 11 月 12 日
場 所	WEB開催 (オンラインとオンデマンド配信)
名 称	第9回日本小児理学療法学会学術大会
タイトル	リハイクと学校モデル事業 ～特別支援学校リハビリ相談と特別支援教育相談モデルの事業成果～
要 旨	当センターの地域支援課は各療法士を1名ずつ配置し、生活現場の療育者、教育者を通しての地域支援のスキルアップを目指している。 ① 特別支援学校リハビリ相談事業 (リハイク) は、療法士が学校に出向き、教員の相談に応じた支援方法や環境設定を提案している。アンケートでは、満足 95%、どちらかといえば満足 5%であり、提案内容は教員内で情報共有し、他児に応用したり個別指導記録に反映している学校もあった。 ② 特別支援教育相談モデル事業 (学校モデル) は、市町の教育委員会と連携し、教員に医学的リハ知識と各療法士が学校現場で支援、提案できることをオンラインでお伝えしている。アンケートでは、今後リハビリ相談を希望 77%、希望しない 23%であり、相談内容は、運動のぎこちなさ、なわとび、マット、姿勢保持の支援方法が知りたいなどであった。 まとめ ① 地域支援課に療法士を配置することにより、教育現場に生かせる満足度の高い提案をすることができた。 ② 地域の学校の教員も、気がかりな児の運動面などの相談を望んでいる。今後も、教育関係者とともに地域支援に努めていきたい。

- ・前田 有美（看護師）、木村 里美（看護師）、神谷 恵子（看護師）

年月日	2022 年 11 月 17 日
場 所	オンライン開催
名 称	2022 年度 東海・北陸・近畿ブロック肢体不自由児療育研究会
タイトル	医療的ケア度の高い重症児の新たな卒後支援の取り組み ～アンケート調査からみる今後の課題～
要 旨	短期入所の取り組みで、2021 年度より「当事者支援」を開始した。「当事者支援」とは、18 歳までに短期入所を利用していた方で、18 歳以上かつ重症度スコア 36 点以上であり、他の生活介護の利用が困難な重度心身障がい者が、日中週 2 回定期利用することである。今回、「当事者支援」について、利用者と職員にアンケート調査を行い、結果から明らかとなった課題について報告する。 当事者支援を始めたことで、以前よりも短期入所利用者への日程変更や断りの連絡が増え、調整がしづらくなつたと感じている職員が多かった。当事者支援を増加・継続していくにあたって、短期入所との折り合いをどうしていくのか、今後の課題が明らかになった。日中活動においては、定期利用することで、職員も利用者の状態把握がしやすくなり、より利用者が好む関わりが出来るようになったことから、今後は、様々な行事やイベントも検討していく必要があると考える。利用者の回答からは、当事者支援は利用者にとって安心できる支援であると再認識出来た。

2 講演

- ・津田 明美（医師）

年月日	2022 年 7 月 5 日
場 所	福井県特別支援教育センター
名 称	特別支援学校校長研修会
タイトル	「幼児期に療育センターで保護者にお伝えしていること」 「特別支援学校へ進学した保護者が外来で話されること」
要 旨	療育センターを受診する「いわゆる気になる子」への医療の内容を説明した。 受診した保護者が学校について医療の場でどのようなことを話されるかを伝えた。 発達障がいの支援方法をご存じない教員がいること 児の評価が必要なこと、評価の方法について教員に伝えていただくことをお願いした。 今後も教育と医療との連携・協働がすすむように協力をお願いした。

年月日	2022 年 7 月 15 日
場 所	オンライン（スクラム福井 福井県総合福祉相談所）
名 称	発達障がい児者福井県方式支援ツール「子育てファイルふくいっ子」 活用のための保育士等研修会【基礎編】
タイトル	発達障がいの理解と支援
要 旨	障がいとは何か？発達障がいとは何か？ 発達障がいの支援が必要とされる理由、発達障がい者支援法の成り立ち 療育とは何か？ 実際の関わる方法（視覚的支援・構造化・ABAを使った行動へのアプ ローチ） （ほめる子育て（ABA）） ふくいっ子ファイルについての説明

年月日	2022 年 7 月 28 日
場 所	オンライン
名 称	福井県小児科医会 ふくはぐ勉強会
タイトル	就学
要 旨	就学時健診の成り立ち、現在の状況について講演した。

年月日	2022 年 8 月 29 日、12 月 7 日
場 所	オンライン（福井県社会福祉センター）
名 称	福井県 保育士等キャリアアップ研修会（障がい児保育）
タイトル	保育士キャリアアップ研修 障がい児保育
要 旨	障がい児保育の最終講義として、前 4 回の講義の振り返りをおこな った。 福井県の体制をふまえて、テキストの ・障がい児保育に関する現状と課題（第 1 章第 3 節） ・さまざまな障がいの見方と支援（第 2 章第 1 節） の内容をお話した。

年月日	2022 年 11 月 2 日
場 所	福井県立ろう学校体育館
名 称	ろう学校教職員
タイトル	いま聞きたい発達障がいのこと
要 旨	ろう学校からの質問 ・ 児の症状が難聴が原因か発達障がい原因か、見分け方 ・ 強度行動障がいの原因 ことばの遅れの原因である難聴・知的障がい・発達障がいについてそれぞれの特徴を話した。発達障がい支援においては視覚的支援・構造化といった支援が有効であり、それは難聴児にも有用ということを伝えた。

年月日	2022 年 12 月 2 日
場 所	あいぱーく今立
名 称	南越地区特別支援教育コーディネーター研修会
タイトル	学齢期の子どもの理解と切れ目ない支援 ～特コ先生にお伝えしたいこと～
要 旨	学校に入学後特性が目立たなくなる児がいるが、診断がつく（＝特性がある）ということをベースに学校生活のアドバイスをお願いした。 口頭でのやり取りができていても視覚的支援は必要な場合があるので視覚的支援の活用を継続していただきたいこと。 本人が学校生活に適応しているように見えるときにはむしろ「過剰適応」していないか気を付けていただきたいと伝えた。 医療と教育、さらには福祉（障がい分野）との連携・協働が必要であり、学校だけで抱え込むのではなく、分担してフォローする体制の構築をお願いした。

年月日	2023 年 1 月 28 日
場 所	福井市保健センター
名 称	福井市「子どもの発達支援研修会」
タイトル	就学に向けて今できること
要 旨	年中児の保護者対象に就学に向けてできることを講演した。 ① 生活リズムを整えること ② 本人が学校で学びたいという気持ちになるようなサポート ③ 児への関わり方（しつけ方のコツ） ④ 環境を整えること（構造化） ⑤ 口でいうだけでなく見てわかるようにすること ⑥ 褒める（認める）子育て ⑦ 行動をかえたいときの取り組み方（ABA）

年月日	2023 年 2 月 4 日
場 所	オンライン
名 称	福井県保育カウンセラー研修会
タイトル	福井県こども療育センター ～医療（療育）は何をしている？ ～療育とは？ ～子育てファイル「ふくいっ子」の活用について
要 旨	福井県こども療育センターでの発達障がい児の診療内容、通園での支援について説明した。

年月日	2023 年 2 月 24 日
場 所	福井県医師会館
名 称	福井市医師会 学校医研修会
タイトル	学校医にお知らせしたい発達障がいの知識
要 旨	① 発達特性ある児の診療のコツ ② 学校と医療（療育）との連携について ③ 子育てファイル「ふくいっ子」について 学校医の業務で役立つ発達障がい支援の知識を講演した

・堀田 さおり（保育士）

年月日	2022 年 9 月 15 日
場 所	夢みらい館さばえ
名 称	鯖江市民間保育園主任会研修会
タイトル	「こども療育センターの紹介と障がいがある子の支援の考え方」
要 旨	こども療育センターは、医療と福祉、地域療育支援の役割をになっており、その中の福祉施設のひとつである児童発達支援センターつばさについてその機能と支援内容について紹介した。 また、社会モデルでは、「障がい者」は「社会の壁や個人の心身機能の障がいにより、生きにくく暮らしにくい状態が続いている人」で、生活を重視し地域支援体制の強化が大事であると考えられている。個人の機能を治し改善させるだけでなく、それぞれの生きる力、育つ力を応援し、当たり前前の育ちや暮らしを支援することが重要なポイントであることを確認、共有した。

年月日	2023 年 1 月 5 日
場 所	越前市 市民プラザたけふ 多目的ホール
名 称	第 2 回保育カウンセラー及び園担当者合同研修会
タイトル	“気になる子” の支援と連携
要 旨	児の課題を適切に捉え、課題解決に必要な質と量の支援をする必要がある。児童発達支援などのサービスを利用する場合は、主に相談支援事業所がそのコーディネートを担当するが、園の“気になる子”には、保護者または、園のコーディネート担当職員がそれを担うことになる。支援の連携には、施設内の連携、支援機関間での連携、移行機関との連携等があり、それらの連携に必要なのは、まずはそれぞれの機関が自施設の専門性と役割を認識すること、そして、互いに関係機関の概要と役割を知ることだと考える。“気になる子” の支援と連携は、各機関が、児施設の専門性と役割を認識し自信を持って支援する、そして、関係機関の機能を知り根拠を持って連携することがポイントである。チームアプローチで共に子どもを育てていきたい。

・前野 麻奈未（保育士）

年月日	2022 年 12 月 14 日
場 所	オンライン開催
名 称	2022 年度ペアレント・プログラム研修会
タイトル	ほめるコツ～ペアレント・プログラムより～
要 旨	福井県発達障がい児者支援センター スクラム福井主催のペアレント・プログラム研修会において、ミニ講座「ほめるコツ」の講演を行なった。この講演では、参加された支援者の方につばさ保育士が現在行なっている保護者向けの講座を体験していただいた。 ほめるためのポイントとして①行動で見ること、②普段できているところをほめること（いいところや努力しているところに注目すること）を挙げ、ほめることへの効果や日々の生活の中での活用の仕方等を確認した。 また、ほめるコツだけでなく叱るコツについても「行動で考える」ことがポイントで、すべき行動や好ましい行動を具体的に伝えることが大切である。

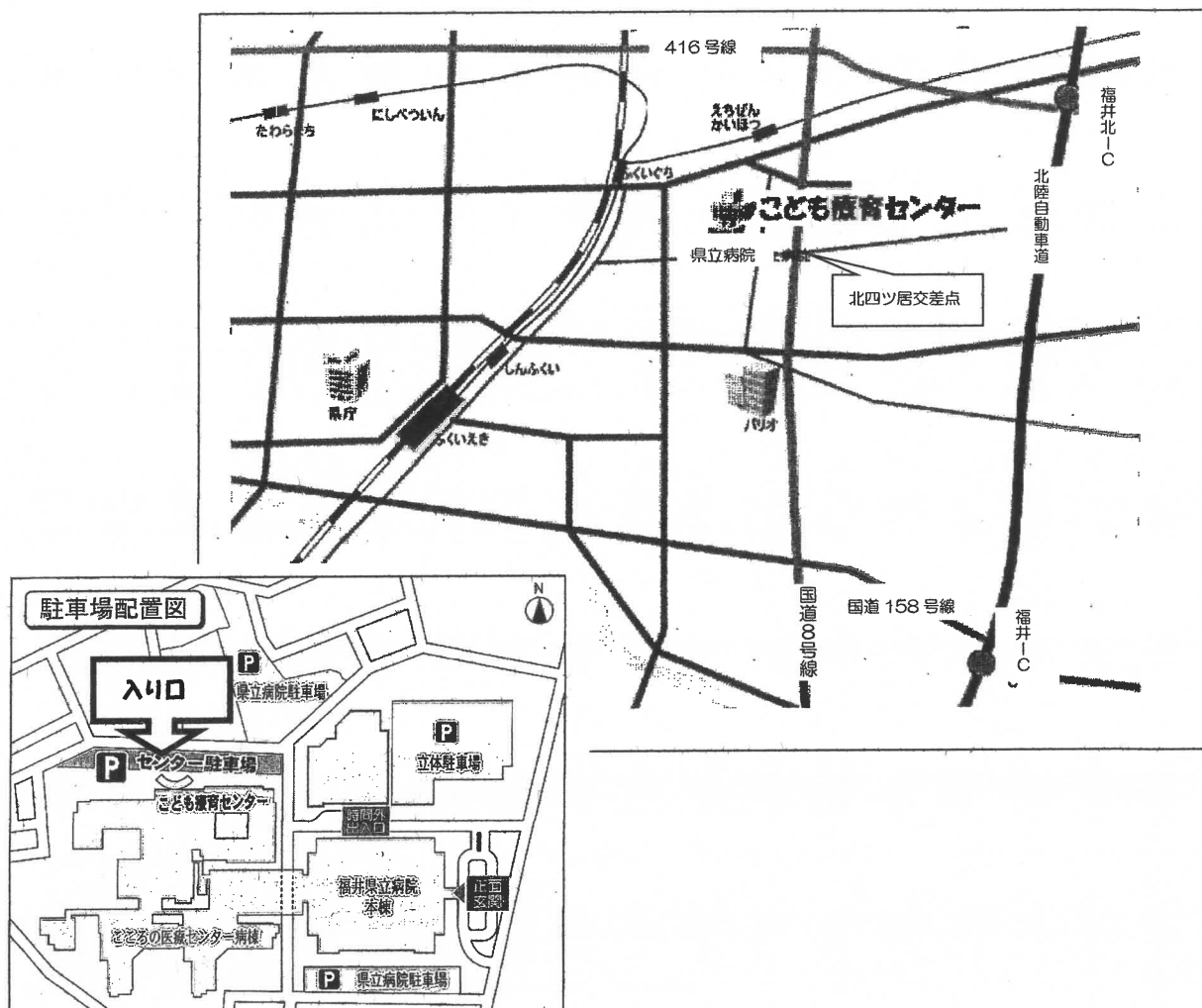
3 所内研修

・平鍋 香織（保育士）

年月日	2023 年 1 月 12 日
場 所	研修室
名 称	虐待対応委員会からの報告
タイトル	ヤングケアラーの理解と支援
要 旨	ヤングケアラーのおかれている現状の理解と支援について研修を受講したので伝達講習を行った。内容は①「ヤングケアラーについての理解」として、ケアラーが担うケアの内容、ケアの量、直面する問題について述べた。②「ヤングケアラーと家庭に必要な支援」として、予防的支援の考え方について、家族への支援例を述べた。③「関係機関との連携」として、医療の役割について述べた。

・松原 明美（看護師）

年月日	2023 年 1 月 12 日
場 所	研修室
名 称	虐待対応委員会からの報告
タイトル	「小さな出来事アンケート」結果
要 旨	当センター職員の利用者への関わりに関して虐待防止や職員の気づきを促したり、今後の虐待対応委員会活動の参考にすることを目的として「小さな出来事アンケート」を実施した。実施期間は、2022 年 8 月 1 日～2022 年 8 月 31 日（お試し期間）と 2022 年 9 月 12 日～2022 年 12 月 28 日（本始動）に行った。 回答数はお試し期間 31 件、本始動 8 件だった。その 2 つについて質問の内容と回答について、1 つ 1 つ述べていった。その内容を受けて、委員会から次の 2 つの「提言」を行った。①風通しの良い職場作りのために、職員同士、センター来訪者（患者・利用者・業者）に挨拶をする。②小学生以上の方には、〇〇さんの呼称を心がける。 最後に「まとめ」として、このアンケートの記入方法を再度提示して、活用を呼び掛けた。



◎ えちぜん鉄道・・・「福井口」下車徒歩 約 10 分

◎ 京福バス・・・JR 福井駅西口バスターミナル①のりば

「36 県立病院丸岡線」 「39 大和田丸岡線」⇒ 「県立病院」下車 約 15 分

◎ すまいるバス・・・JR 福井駅西口バスターミナル⑥のりば

「東ルート 城東・日の出方面」⇒ 「15 県立病院口」下車 約 25 分

療育のあゆみ 2022 年（令和 4 年）度業務統計

2023 年 9 月 発行

編集・発行 福井県子ども療育センター

〒910 - 0846 福井市四ツ井 2 丁目 8-1

電話 0776-53-6570

FAX 0776-53-6576